



「えんぴつ」はおいしい???

『行為の背景を考えることの大切さ』の巻

佐渡市立河崎小学校長 濱田清明

我が子や孫が、指や「えんぴつ」を、もし、口にくわえていたらどうしますか?



- ①番 「やめなさい。」「汚い。」など、怒ってやめさせる。
- ②番 指や「えんぴつ」を噛むことの背景を考える。
- ③番 指や「えんぴつ」にカラシを塗る。 (選んでから以下を読み進めてください。)

実は、私が小学校の時、筆箱の「えんぴつ」には、全て歯形がついていました。授業中、「えんぴつ」を私が噛んでいたからです。「えんぴつ」はおいしく? 噛んでいると安心をしました。しかし、子どもの私には、「えんぴつ」を噛む理由など分かりませんでした。ただ、友達や先生、親から注意された記憶はありません。そして、小学校を卒業する頃には、自然と噛まなくなりました。



子どもが口の中に何かを入れて噛むのは、不安を感じた際に、気持ちを落ち着かせたりストレスを発散したりするためです。その不安やストレスは、「親の過干渉や放任、厳格なしつけなどによる親子関係の不安」や、「学校の勉強で、『難しい』と感じ、問題が解けない自分に対する不満」などからです。ちなみに、子どもが噛む物は「服の袖・えり・ひも」「消しゴム」など様々です。

さて、上記の①番から③番の対応についてですが、①番の「怒る」はNG。子どもは萎縮してしまい、余計にストレスを感じ、噛む行動がひどくなるケースもあります。見付けたら、何でダメなのかを優しく伝えてあげたり、お子さんの手を握って安心させてあげたりするとより効果的とのこと。②番の「背景を考える」は、大きな原因として考えられる『愛情不足』『不安』という背景を分析し、それらを取り除いてあげることが一番良い方法とのこと。③番の「カラシ」はどうか? カラシはダメですが、似たような方法として、最近は、体に害のない苦味成分が配合されたものを爪に塗る方法が医者で処方されるそうです。さらに、噛むための「キャップ付きえんぴつ」が売られているとのこと。(どんな味がするのでしょうか?)

感謝

いずれにしても、何か不安・ストレスを感じて「えんぴつ」を噛んでいた私に、もしあの時、周囲の人たちからしつこく注意をされていたら、私は大きく反抗し、ぐれていたことでしょう。「えんぴつ」を噛む私を見て、先生や親は何かの対策を考えたのでしょうか。当時の友達や先生、そして、親の愛に感謝です。

話は変わり、我が子が保育園の時、チックになりした。チックとは、例えば、くび曲げ、肩すくめ、せき払いなどです。我が子が遊んでいるのを見ていたら、以前は無かったまばたきをいつもしているのを見つけたのです。さらに、まゆ毛を抜いていたのです。その時、私の「えんぴつ」の経験から、その行為を注意するのではなく、その行為の背景(我が子への接し方など)を考えました。当時は、新潟でアパート暮らし。夫婦共働き。さらに、私が夜は大学に通って勉強をしていたので、生活が乱れ、我が子をよく叱っていました。夫婦でも反省し、休みには遊んだり一緒に寝たりしました。すると、チックは無くなりました。



前置き(?)が長くなりましたが、子どもたちを見守る中で、何か変化があったら、その行為ばかりに目をやり注意するのではなく、その背景を考えながら子育てをしていきませんか。